

平成21年度杉並区一般会計補正予算

平成21年度杉並区一般会計補正予算（第2号）の概要は以下のとおりです。

1 各会計歳入歳出予算の補正（総括表）

単位：千円			
会計	補正前	今回補正額	補正後
一般会計（補正第2号）	143,030,640	277,224	143,307,864

2 一般会計補正予算（第2号）の概要

- 補正事業 12事業
- 補正予算額 2億7,722万4千円

歳入予算については、国庫支出金、都支出金の増額が見込まれることから補正を行いません。また、歳出予算では、ふるさと雇用再生特別交付金事業として高齢者外出支援サービスに要する経費、認知症高齢者グループホームの防火設備整備工事（民営施設の助成含む）に要する経費、長寿応援ポイント事業の運営委託等に要する経費、障害者自立支援サービスの高額障害者サービス費及び自立支援対策臨時特例補助金事業等に要する経費、下井草第二学童クラブの整備に要する経費、Hibワクチン予防接種の助成に要する経費、新型インフルエンザ対策として抗インフルエンザ薬の購入及びサージカルマスク・消毒薬など消耗品の購入等に要する経費、荻窪駅周辺整備として西口バリアフリー整備の調査・設計に要する経費など、12事業の経費を計上しました。

一般会計予算規模

単位：千円

	予算額	特定財源		一般財源
		国・都支出金	その他	
補正前の額	143,030,640	20,968,380	10,970,534	111,091,726
補正額	277,224	98,217	0	179,007
補正後の額	143,307,864	21,066,597	10,970,534	111,270,733

(1) 主な歳出事業

- ふるさと雇用再生特別交付金事業
国の施策で東京都に設置された、ふるさと雇用再生特別基金を活用して、高齢者の閉じこもり防止や介護予防効果を高めるための、高齢者外出支援サービス事業委託に要する経費などを計上しました。

(1290万円)

- 認知症高齢者グループホーム運営**
区有の認知症高齢者グループホーム（2施設）のスプリンクラー設置工事に要する経費を計上しました。
(3200万円)
- 長寿応援ポイント事業**
長寿応援ポイント事業の普及啓発及び事業運営委託等に要する経費を計上しました。
(1475万円)
- 障害者自立支援サービス**
自立支援法システム運用の事務処理委託、高額障害福祉サービス費に係る事業運営安定化、通所サービス等利用促進、新事業移行促進などに要する経費を計上しました。
(1981万円)
- 障害者施設移行支援**
通所サービス利用促進として通所施設の送迎サービスに対する助成に要する経費を計上しました。
(480万円)
- 認知症高齢者グループホームの建設助成**
民間の認知症高齢者グループホーム（5施設）のスプリンクラー設置工事に対する助成に要する経費を計上しました。
(5718万円)
- 下井草第二学童クラブの整備**
下井草第二学童クラブの移転に伴う工事、初度備品・消耗品購入などに要する経費を計上しました。
(4122万円)
- 予防接種**
H i b ワクチン予防接種の助成に要する経費を計上しました。
(2999万円)
- 新型インフルエンザ対策**
抗インフルエンザ薬の購入、広報すぎなみの発行、流行時対策としてサージカルマスク・消毒薬・サーモフォーカス・ガウン・手袋などの消耗品購入、発熱電話相談センターの電話交換機回線容量の増設などに要する経費を計上しました。
(3616万円)
- 荻窪駅周辺整備**
西口バリアフリー整備として、エレベータ設置の調査・設計に要する経費を計上しました。
(2630万円)